

# 3. 地震に備えて

## 想定される地震

千葉県の設定する想定地震としては、近い将来大きな影響を及ぼす可能性が高い地震として「東京湾北部を震源」又は「千葉県北西部直下を震源」とするマグニチュード7.3の地震があります。四街道市でこのような地震が発生した場合、最大で震度6強の揺れが発生し、家屋の倒壊や電気・ガス・上下水道等の生活インフラの被害が多数発生することが想定されます。また、避難路となる道路も陥没するなど避難や物資輸送に大きな支障をきたすことも想定されます。

四街道市では、このような地震が発生した場合に備え、日頃から地震に対する備えを心掛けていただくと共に、地震発生時には市民の皆様が安全な場所に避難していただき被害を最小限に抑えることが大切です。

## マグニチュードと震度

### マグニチュード

マグニチュードとは、地震のエネルギーを表す単位です。一般にマグニチュードにより、次のように表現しています。

マグニチュードM8程度以上：巨大地震
マグニチュードM7以上：大地震
マグニチュードM5以上M7未満：中地震
マグニチュードM3以上M5未満：小地震

### 震度

震度とは、地震の際の各地点の揺れの強さを表します。

一般的に、マグニチュードが大きくても震源が遠い場合や深い場合は、震度が小さく、マグニチュードが小さくても震源が近い場合や浅い場合は、震度が大きくなります。

## 震度の違いと被害想定

※この階級による震度(気象庁震度階級)の発表は、平成21年3月31日より実施

0	 <p>人は揺れを感じないが、地震計には記録される。</p>
1	 <p>屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>
2	 <p>屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。</p>
3	 <p>屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。</p>
4	 <p>ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。</p>

5	 <p>弱</p> <p>大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</p>
6	 <p>強</p> <p>大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</p>
7	 <p>弱</p> <p>立っていることが困難になる。</p>
8	 <p>強</p> <p>立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。</p>
9	

# 3. 地震に備えて

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル(室内にいた場合)

### 地震発生

#### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すばやく火の始末 ガスの元栓、コンセント、ストーブ
- 室内に居ることが危ないと判断した場合、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



### 1~2分

#### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火。※初期消火の限界は炎が天井に燃え移る前まで
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根がわら・ブロック塀・自動販売機等に注意



### 3分

#### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |            |  |
|------------|--|
| 隣近所に声をかけよう | ●隣近所で助け合う 要配慮者、避難行動要支援者の安全確保                               |
|            | ●行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか                                      |
| 出火防止 初期消火  | ●初期消火 ●消火器を使う ●座布団、毛布、大きめのタオル等の活用                          |
|            | ●漏電・ガス漏れに注意 ●余震に注意   |
|            | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく (ただし、乳幼児のいる家庭では浴槽への転落防止のため工夫をしましょう) |

### 5分

#### ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護 ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時に車は原則として使用しない ●電話は緊急連絡を優先する

### 10分 数時間 3日

#### 協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 最低でも3日間、できれば1週間分備蓄しておく
- 災害情報・被害情報の収集 ●無理はやめよう ●風呂水を貯めおきしておく (特に高層マンション居住者等)
- 助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない

### 屋内にいた場合

#### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者、避難行動要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

#### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対使わない。
- 炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

#### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



#### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてず冷静な行動をとる。

### 屋外にいた場合

#### 路上

- その場に立ち止まらず、周りの危険物に注意し、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

#### 車を運転中

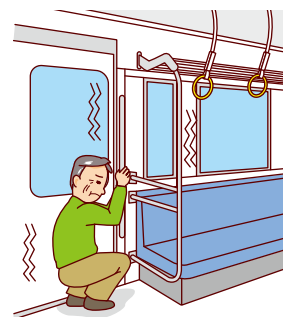
- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

#### 海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

#### 電車などの車内

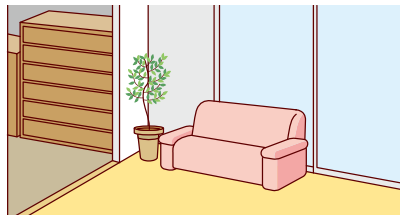
- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。



## 家の中の安全対策

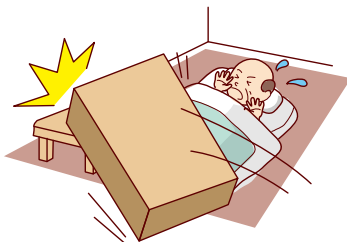
### 1 家の中に安全な空間をつくる

部屋が幾つもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



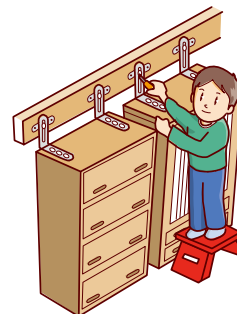
### 2 できるだけ寝室には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性があります。



### 3 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



### 4 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



### 5 電気火災発生防止

大地震が発生した際には、多数の火災が発生し、多くの人が命や財産を失っています。

地震火災の原因の多くは電気が関連しており、電気機器等（電気ストーブ、電気コンロ等）の転倒による出火や、電気復旧時における通電火災（破損した電気コードのショートによる出火等）があります。

このような電気火災を防ぐため、※感震ブレーカー等を設置しましょう。

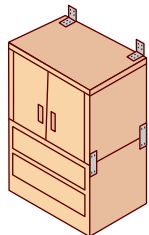
※感震ブレーカーとは、あらかじめ設定した震度以上の地震が発生した場合に、自動的に電気の供給を遮断しますので、電気による出火防止に効果的です



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

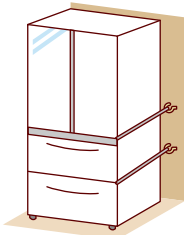
#### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



#### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で固定する。



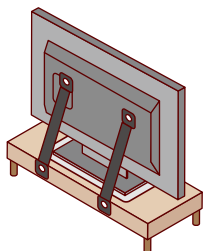
#### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように留め金具をつける。



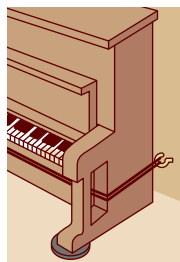
#### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く（家具の上はさける）。免震ゴムの設置も有効です。



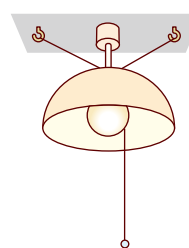
#### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取り付け金具などで固定する。足にはすべり止めをつける。



#### 照明

チェーンと金具を使って数箇所留める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。



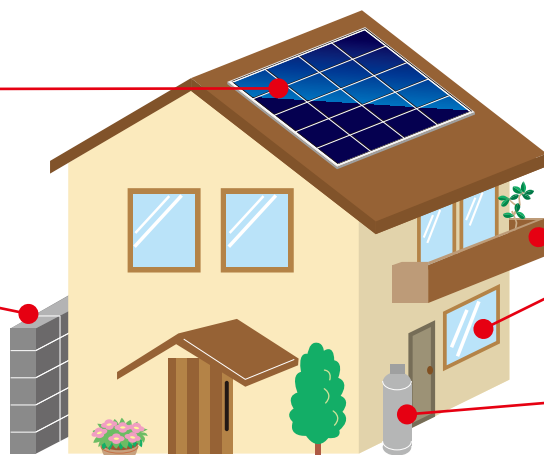
## 家の周囲の安全対策

#### 屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

#### ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。



#### ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

#### 窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る。

#### プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。